

## 初めての修士号学位を19名の研修生に授与 (第46回国際地震工学研修レギュラーコースが修了)

独立行政法人建築研究所では、1962年から毎年、開発途上の地震国から若い研究者や技術者を招き、「国際地震工学研修レギュラーコース」などの地震学・地震工学に関する研修をJICAと協力して行ってまいりました。

昨年10月に開講した「第46回国際地震工学研修レギュラーコース」からは、建築研究所及び政策研究大学院大学（吉村融学長、東京都港区六本木。以下、「政研大」という。）、JICAが連携して、政研大に修士課程「地震リスクマネジメントプログラム」を創設し、「修士号学位（防災政策）」を取得可能な研修として、実施してまいりました。この度、約1年間の研修を修了し、参加した17ヶ国19名の研修生に、JICA集団研修としては初の修士号学位を授与し閉講しました。

研修生は修士号学位を取得することにより、母国で地震学、地震工学の専門家として活躍するための基盤を確保・充実させることができ、母国の地震防災の発展に、より一層寄与される事が期待されています。

### (内容の問合せ先)

独立行政法人建築研究所  
所 属 国際地震工学センター  
管理室長  
氏 名 櫻 澤 昌 二  
電 話 029-879-0678(直通)  
E-mail sakuraza@kenken. go. jp

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。

## 初めての修士号学位を19名の研修生に授与

### (第46回国際地震工学研修レギュラーコースが修了)

国際地震工学研修は、1960年に東京大学で開始され、1962年からは建築研究所に移管し、以来、開発途上国の地震災害低減のため、毎年各国の地震学・地震工学分野の研究者や技術者をJICAと協力して受け入れてまいりました。研修が始まって以来、現在までに95ヶ国から1,282名の研修生を受け入れ、国際協力、技術援助の分野で高い評価を頂いています。

昨年10月に開講した「第46回国際地震工学研修レギュラーコース」からは、建築研究所及び政策研究大学院大学（吉村融学長、東京都港区六本木。以下、「政研大」という。）、JICAが連携して、政研大に修士課程「地震リスクマネジメントプログラム」を創設し、「修士号学位（防災政策）」を取得可能な研修として、実施してまいりました。この度、約1年間の研修を修了し、参加した17ヶ国19名の研修生に修士号学位を授与し、下記のとおり閉講しました。

去る9月14日(木)に、山内泰之建築研究所理事長及び青木眞JICA筑波所長、建築研究所幹部の出席のもと、建築研究所で閉講式が行われ、山内理事長から研修を修了したことを証する修了証書が、青木JICA筑波所長からJICA研修修了証書が、古川信雄建築研究所国際地震工学センター長から履修内容を明記した履修証明書が全研修生に手渡されました。また、閉講式後、今回の修士号学位が、国際地震工学研修の46年の歴史の中で初めての事であるばかりではなく、JICA集団研修全体でも初めてのものであることから、修士号学位の授与を記念して、記念植樹を建築研究所構内で行いました。

さらに、翌15日（金）には、政研大で「学位記授与式」が執り行われ、吉村融・政研大学長とともに、山内理事長から研修生に「修士号学位記」を直接授与しました。

そして、16日（土）以降、母国を遠く離れて約1年間の日本での研修生活を終えた19名の研修生は研修修了証書及び修士号学位記等を手し、帰国の途につきました。

研修生は修士号学位を取得することにより、母国で地震学・地震工学の専門家として活躍するための基盤を確保・充実させることができ、母国の地震防災の発展に、より一層寄与される事が期待されています。

<参考1：修士号学位を授与された研修生の出身国名（17ヶ国）>

- ・アルバニア、アフガニスタン、アルジェリア、中国、コスタリカ、エルサルバドル、グルジア、グアテマラ、インド、インドネシア、モンゴル、ネパール、ペルー、フィリピン、トルコ、ウズベキスタン、ジンバブエ

<参考2：関係写真>

(1) 第46回 国際地震工学研修 レギュラーコース 閉講式(18.9.14)

① 山内理事長が研修生に祝辞



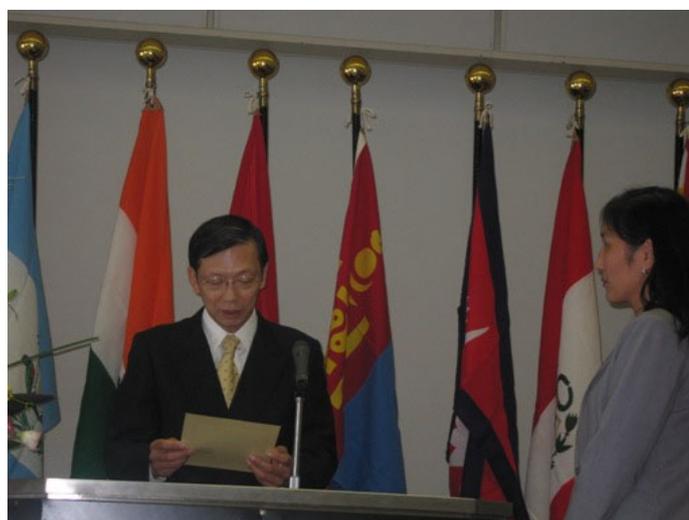
② 山内理事長が研修生に修了証書を授与



③ 青木 JICA 筑波所長が研修生に修了証書を授与



④ 古川国際地震工学センター長が研修生に履修証明証を授与



⑤ 研修生代表の答辞



⑥ 初の修士号学位授与を記念し、研修生による記念植樹



(2) 政研大・学位記授与式 (18. 9. 15)

① 山内理事長が研修生に修士号学位記を授与 (写真右は吉村・政研大学長)



② 修士号学位を授与された研修生19名と研修関係者

